

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-190729

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月21日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20
12/58		1 0 1 B
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00
		3 5 1 G

審査請求 未請求 請求項の数44 OL (全 22 頁)

(21) 出願番号 特願平9-148323  
(22) 出願日 平成9年(1997) 6月5日  
(31) 優先権主張番号 特願平8-170504  
(32) 優先日 平8(1996) 6月28日  
(33) 優先権主張国 日本 (J P)  
(31) 優先権主張番号 特願平8-284288  
(32) 優先日 平8(1996) 10月25日  
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005223  
富士通株式会社  
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号  
(72) 発明者 村上 雅彦  
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号 富士通株式会社内  
(74) 代理人 弁理士 河野 登夫

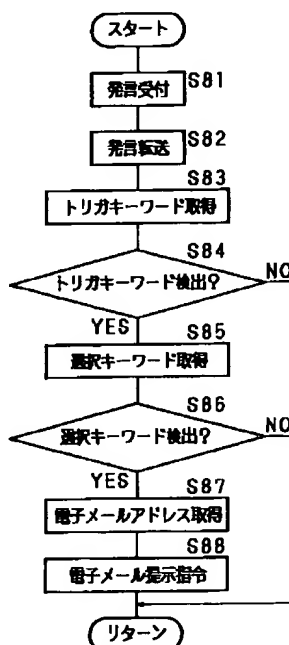
(54) 【発明の名称】 電子メール表示方法、情報通信システム、電子メールセンタ、チャットサーバ及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 チャットサーバ及び電子メールセンタを連携させる。

【解決手段】 発言内容からその発言者のトリガキーワードを検出したとき (S84)、発言者のユーザ情報から選択キーワードを取得して (S85)、発言内容から前記選択キーワードを検出したとき (S86)、チャットの参加者の電子メールアドレスを取得して (S87)、前記電子メールアドレス及び電子メールの選択方法を指定して電子メールセンタ1へ電子メールの提示を指令する (S88)。

チャットサーバの処理手順を示すフローチャート



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、前記キーワードを検出したとき、第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応するメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第2端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項2】 ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、前記キーワードを検出したとき、第1端末装置のメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第1端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項3】 ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するための第1キーワード及び最新の電子メールを指すための第2キーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから第1キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、第1キーワードを検出したとき前記メッセージから第2キーワードを検索して、第2キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応するメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第2端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項4】 ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するための第1キーワード及び最新の電子メールを指すための第2キーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから第1キーワードを検索して、第1キーワードを検出したとき前記メッセージから第2キーワードを検索して、第2キーワードを検出したとき第1端末装置のメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第1端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項5】 第2キーワードには電子メールの受信日を指定するためのキーワードを設定しておき、第2キー

ワードを検出したとき受信日を検索して、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記受信日に受信した電子メールを読み出すことを特徴とする請求項3、4のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項6】 第2キーワードには電子メールの受信日から当日までの日数を指定するためのキーワードを設定しておき、第2キーワードを検出したとき日数を検索して、カレンダーから求めた当日の日付及び前記日数から電子メールの受信日を求めて、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記受信日に受信した電子メールを読み出すことを特徴とする請求項3、4のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項7】 読み出すべき電子メールの発信者及び受信者のユーザ情報は前記メッセージを送信したユーザ又は受信したユーザのいずれかのユーザ情報と夫々一致することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項8】 読み出すべき電子メールはその受信者のユーザ情報として前記メッセージを送信したユーザ及び受信したユーザのユーザ情報を有することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項9】 読み出すべき電子メールはその送信者のユーザ情報として前記メッセージを送信したユーザ又は受信したユーザのユーザ情報のいずれかを有しており、しかもその受信者のユーザ情報としてその他のユーザ情報を指定してあることを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項10】 読み出すべき電子メールが複数存在するとき、該電子メールの一覧を表示することを特徴とする請求項1～9のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項11】 第1端末装置に読み出すべき電子メールが表示されているとき、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出すことを特徴とする請求項1、3、5～9のいずれかに記載の電子メール表示方法。

【請求項12】 ユーザ毎に対応して設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、前記キーワードを検出したとき、前記メッセージから電子メールの識別情報を検索して、該識別情報を検出したとき、前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項13】 ユーザ毎に対応して設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メー

ルボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め決めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、前記キーワードを検出したとき、前記メッセージから電子メールの識別情報を検索して、該識別情報を検出したとき、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第1端末装置に表示することを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項14】 各ユーザが送信及び受信した電子メールを、電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスに格納しておき、前記ユーザの内の複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め決めてあるキーワードが発言されたとき、前記チャットシステムのチャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、前記電子メールセンタ内のメールボックスに前記電子メールと同じ電子メールが格納され前記会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、前記電子メールを表示させることを特徴とする電子メール表示方法。

【請求項15】 前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記チャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項14記載の電子メール表示方法。

【請求項16】 前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記チャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項14記載の電子メール表示方法。

【請求項17】 前記キーワードは、前記各ユーザがそれぞれ設定する請求項14～16の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項18】 前記端末装置に表示させるべき電子メールが前記メールボックス内に複数格納されている場合、前記チャットサーバは、前記端末装置に前記電子メールを一覧表示させる請求項14～17の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項19】 前記会話上で、前記キーワードと予め決めてある第3キーワードとを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の最新の前記電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボッ

クスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項14～18の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項20】 第3キーワードは、前記各ユーザがそれぞれ設定する請求項19記載の電子メール表示方法。

【請求項21】 前記会話上で、前記キーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記時に送信又は受信した電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項15～20の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項22】 第4キーワードの時を指定する形式は、前記各ユーザがそれぞれ設定する請求項21記載の電子メール表示方法。

【請求項23】 前記会話上で、前記キーワードと「〇日前」の語句とを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の〇日前の前記電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項15～22の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項24】 各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加しておき、前記会話上で、前記キーワードと前記識別情報とを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記識別情報が付加された電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項15～23の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項25】 前記会話上で、前記キーワードが発言されたときに、前記キーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、前記チャットサーバは、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させる請求項15～24の何れかに記載の電子メール表示方法。

【請求項26】 電子メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、

端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、

前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、  
 第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、  
 前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索する手段と、  
 前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを特定する手段と、  
 第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする情報通信システム。  
 【請求項27】 電子メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、  
 端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、  
 前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、  
 第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、  
 前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記メッセージを受信した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを特定する手段と、  
 第1端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第1端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする情報通信システム。  
 【請求項28】 複数の端末装置と、各端末装置から受信した電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して、これを前記端末装置へ送信する電子メールセンタと、各端末装置から受信したメッセージを前記端末装置と対応するユーザ情報とともに他の端末装置へ送信するチャットサーバとを有する情報通信システムにおいて、  
 前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、  
 第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、  
 前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索する手段と、  
 前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メ

ルを特定する手段と、  
 第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする情報通信システム。  
 【請求項29】 電子メールを受信する手段と、受信した電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納する手段と、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、  
 10 電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付ける手段と、  
 前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定する手段と、  
 前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示する手段とを備えることを特徴とする電子メールセンタ。  
 【請求項30】 端末装置からメッセージを受信する手段と、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、  
 20 前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、  
 キーワードを定める手段と、  
 第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索する手段と、  
 前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせる手段と、  
 第2端末装置に対応させたメールボックスから前記手段により得られた電子メールを読み出して第2端末装置へ表示することを指令する手段とを備えることを特徴とするチャットサーバ。  
 【請求項31】 電子メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納して、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示するためのコンピュータプログラムを記録してある記録媒体において、  
 電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けるステップと、  
 前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定するステップと、  
 前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示するステップとを含むコンピュータプログラムを記録してある記録媒体。  
 【請求項32】 ホストコンピュータに電子メールを受信させ、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納させ、メールボックスと対応する端末装置からの  
 50 読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メ

ールを読み出して前記端末装置に表示させるためのホストコンピュータが使用可能な記録媒体において、ホストコンピュータに電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段とを備える、ホストコンピュータが使用可能な記録媒体。

【請求項33】 端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信するためのコンピュータプログラムを記録してある記録媒体において、キーワードを定めるステップと、第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索するステップと、前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせるステップと、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記ステップにより得られた電子メールを読み出して、これを第2端末装置へ表示することを指令するステップとを含むコンピュータプログラムを記録してある記録媒体。

【請求項34】 ホストコンピュータに端末装置からメッセージを受信させ、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別させ、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信させるためのホストコンピュータが使用可能な記録媒体において、ホストコンピュータにキーワードを定めさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに第2端末装置に対応させたメールボックスから前記問い合わせにより得られた電子メールを読み出して、これを第2端末装置へ表示することを指令させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコ

ード手段とを備えるホストコンピュータが使用可能な記録媒体。

【請求項35】 各ユーザが送信及び受信した電子メールをユーザ毎のメールボックスに格納するステップと、前記ユーザの内の複数ユーザが参加している文字による会話を制御するチャットサーバが指示した、前記複数ユーザの各メールボックス内の電子メールを、前記複数ユーザが操作するそれぞれの端末装置に表示させるステップとを含む電子メール表示方法のコンピュータプログラムを記録することを特徴とする記録媒体。

【請求項36】 送信及び受信した電子メールを電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスにそれぞれ格納する複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたとき、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、メールボックスに前記電子メールと同じ電子メールが格納され前記会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、前記電子メールを表示するように指示するステップと、前記キーワードが、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含むコンピュータプログラムを記録することを特徴とする記録媒体。

【請求項37】 前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含む請求項36記載の記録媒体。

【請求項38】 前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含む請求項36記載の記録媒体。

【請求項39】 それぞれの前記指示するステップは、端末装置に表示させるべき電子メールがメールボックス内に複数格納されている場合、前記端末装置に前記電子メールを一覧表示するように指示する請求項36～38の何れかに記載の記録媒体。

【請求項40】 前記会話上で、前記キーワードと予め定めてある第3キーワードとを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装

置を操作するユーザの前記メールボックス内の最新の前記電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップと、第3キーワードが、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含む請求項36～39の何れかに記載の記録媒体。

【請求項41】 前記会話上で、前記キーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記時に送信又は受信した電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップと、第4キーワードの時を指定する形式が、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含む請求項36～40の何れかに記載の記録媒体。

【請求項42】 前記会話上で、前記キーワードと「〇日前」の語句とを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の〇日前の前記電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含む請求項36～41の何れかに記載の記録媒体。

【請求項43】 各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加するステップと、前記会話上で、前記キーワードと前記識別情報とを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記識別情報が付加された電子メールを前記端末装置に表示するように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含む請求項36～42の何れかに記載の記録媒体。

【請求項44】 前記会話上で、前記キーワードが発言されたときに、前記キーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップを含む請求項36～43の何れかに記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はチャットシステムと電子メールセンタとを連携させ、チャット中に受信済の電子メールの提示を行う電子メール表示方法、その実施に使用する情報通信システム、電子メールセンタ、チャットサーバ及び記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】電子メールはホストコンピュータである電子メールセンタにメールボックスと呼ばれる記憶領域を受信者の人数分設けておき、この電子メールセンタが公衆回線網を介してこれと接続してある端末装置から受信者を指定した文書情報を受信し、これをその指定された受信者に対応するメールボックスへ書き込み、受信者がメールボックスから端末装置へ前記文書情報を読み出すことによって情報の交換を行う電子的な郵便である。

【0003】電子メールの受信者はその電子メールを都合の良い時間に受信することができるので、電子メールの受信（着信）によって電話の呼び出しの如く継続中の用事を中断させられることがなく快適である。発信者にとっては前述の如く受信者の都合が保たれるので着信時刻を気にする必要がなく、気楽に利用できる。

【0004】一方、情報の交換を行う手段としてチャットシステムがある。これはホストコンピュータであるチャットサーバと複数の端末装置とを公衆回線を介して接続しておき、チャットサーバが前記端末装置から受信したメッセージを即時に他の端末装置へ送信することにより各々の端末装置を操作するオペレータ同士の文字による「会話」を実現するものである。チャットシステムは発言内容とその発言者名とを対応させて端末装置に表示する。従って一時に複数の発言が発せられたとしても発言者を取り違えられることなく、他のオペレータにその発言内容が確実に伝わるので意見のやり取りが円滑に進む。また、端末装置に表示された発言内容をそのままテキストデータとして残すことができるので、このテキストデータから議事録を容易に作成することができる。

【0005】従ってチャットシステムは、その参加者同士が互いに意見を述べ合って方針を取りまとめるといった用途に適しているといえるが、電話と同様に時間を拘束させるのが難点である。また伝えるべき内容がまとまりのある文書になっているときには、前述した電子メールの方が適していることもある。そこで、通常の情報交換には電子メールを利用し、簡単な通信を行うとき又は方針を取りまとめるときにはチャットシステムを利用するといった使い分けがされてきた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】従って過去に受信した電子メールの内容がチャットの話題に取りあげられる場面がよくある。しかしこのような場面においてその話題を提供した発言者以外のチャットの参加者がその電子メールの内容に心当たりがない場合、円滑な意思の疎通に支障をきたす。本発明は斯かる事情に鑑みてなされたも

のであって、チャットの発言に予め定めておいたキーワードが登場したとき、チャットシステムと電子メールセンタとを連携させて受信済の電子メールを提示する電子メール表示方法、その実施に使用する情報通信システム、電子メールセンタ、チャットサーバ及び記録媒体の提供を目的とする。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】第1発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、前記キーワードを検出したとき、第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応するメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第2端末装置に表示することを特徴とする。

【0008】第2発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、前記キーワードを検出したとき、第1端末装置のメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第1端末装置に表示することを特徴とする。

【0009】第3発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応させて設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するための第1キーワード及び最新の電子メールを指すための第2キーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから第1キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、第1キーワードを検出したとき前記メッセージから第2キーワードを検索して、第2キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応するメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第2端末装置に表示することを特徴とする。

【0010】第4発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応して設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するための第1キーワード及び最新の電子メールを指すための第2キーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから第1キーワードを検索して、第1キーワードを

検出したとき前記メッセージから第2キーワードを検索して、第2キーワードを検出したとき第1端末装置のメールボックスに格納してある電子メールの中から該当する電子メールを特定して読み出し、第1端末装置に表示することを特徴とする。

【0011】第5発明に係る電子メール表示方法は、第2キーワードには電子メールの受信日を指定するためのキーワードを設定しておき、第2キーワードを検出したとき受信日を検索して、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記受信日に受信した電子メールを読み出すことを特徴とする。

【0012】第6発明に係る電子メール表示方法は、第2キーワードには電子メールの受信日から当日までの日数を指定するためのキーワードを設定しておき、第2キーワードを検出したとき日数を検索して、カレンダーから求めた当日の日付及び前記日数から電子メールの受信日を求めて、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記受信日に受信した電子メールを読み出すことを特徴とする。

【0013】第7発明に係る電子メール表示方法は、読み出すべき電子メールの発信者及び受信者のユーザ情報は前記メッセージを送信したユーザ又は受信したユーザのいずれかのユーザ情報と夫々一致することを特徴とする。

【0014】第8発明に係る電子メール表示方法は、読み出すべき電子メールはその受信者のユーザ情報として前記メッセージを送信したユーザ及び受信したユーザのユーザ情報を有することを特徴とする。

【0015】第9発明に係る電子メール表示方法は、読み出すべき電子メールはその送信者のユーザ情報として前記メッセージを送信したユーザ又は受信したユーザのユーザ情報のいずれかを有しており、しかもその受信者のユーザ情報としてその他のユーザ情報を指定してあることを特徴とする。

【0016】第10発明に係る電子メール表示方法は、読み出すべき電子メールが複数存在するとき、該電子メールの一覧を表示することを特徴とする。

【0017】第11発明に係る電子メール表示方法は、第1端末装置に読み出すべき電子メールが表示されているとき、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出すことを特徴とする。

【0018】第12発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応して設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め定めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、また前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索して、前記キーワードを検出したとき、前記メッセージから電子メールの識別情報を検索して、該識別情報を検出したと



き、前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示することを特徴とする。

【0019】第13発明に係る電子メール表示方法は、ユーザ毎に対応して設けられた複数のメールボックスに夫々格納してある電子メールを各メールボックスと対応する端末装置に表示することを指示するためのキーワードを予め決めておき、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索して、前記キーワードを検出したとき、前記メッセージから電子メールの識別情報を検索して、該識別情報を検出したとき、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第1端末装置に表示することを特徴とする。

【0020】第14発明に係る電子メール表示方法は、各ユーザが送信及び受信した電子メールを、電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスに格納しておき、前記ユーザの内の複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め決めてあるキーワードが発言されたとき、前記チャットシステムのチャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、前記電子メールセンタ内のメールボックスに前記電子メールと同じ電子メールが格納され前記会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、前記電子メールを表示させることを特徴とする。

【0021】第15発明に係る電子メール表示方法は、前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記チャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

【0022】第16発明に係る電子メール表示方法は、前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記チャットサーバは、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

【0023】第17発明に係る電子メール表示方法は、前記キーワードは、前記各ユーザがそれぞれ設定することを特徴とする。

【0024】第18発明に係る電子メール表示方法は、前記端末装置に表示させるべき電子メールが前記メールボックス内に複数格納されている場合、前記チャットサーバは、前記端末装置に前記電子メールを一覧表示させることを特徴とする。

【0025】第19発明に係る電子メール表示方法は、前記会話上で、前記キーワードと予め決めてある第3キーワードとを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の最新の前記電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

10 【0026】第20発明に係る電子メール表示方法は、第3キーワードは、前記各ユーザがそれぞれ設定することを特徴とする。

【0027】第21発明に係る電子メール表示方法は、前記会話上で、前記キーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記時に送信又は受信した電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

20 【0028】第22発明に係る電子メール表示方法は、第4キーワードの時を指定する形式は、前記各ユーザがそれぞれ設定することを特徴とする。

【0029】第23発明に係る電子メール表示方法は、前記会話上で、前記キーワードと「〇日前」の語句とを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の〇日前の前記電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

30 【0030】第24発明に係る電子メール表示方法は、各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加しておき、前記会話上で、前記キーワードと前記識別情報とを含む発言がなされたとき、前記チャットサーバは、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記識別情報が付加された電子メールを前記端末装置に表示させ、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

【0031】第25発明に係る電子メール表示方法は、前記会話上で、前記キーワードが発言されたときに、前記キーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、前記チャットサーバは、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させることを特徴とする。

50 【0032】第26発明に係る情報通信システムは、電子



メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索する手段と、前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2

端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを特定する手段と、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする。

【0033】第27発明に係る情報通信システムは、電子メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記メッセージを受信した第2端末装置に各対応

させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを特定する手段と、第1端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第1端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする。

【0034】第28発明に係る情報通信システムは、複数の端末装置と、各端末装置から受信した電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納しておき、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して、これを前記端末装置へ送信する電子メールセンタと、各端末装置から受信したメッセージを前記端末装置と対応するユーザ情報とともに他の端末装置へ送信するチャットサーバとを有する情報通信システムにおいて、前記メールボックスに格納してある電子メールの表示を指示するためのキーワードを設定する手段と、第1端末装置から送信されたメッセージから前記キーワードを検索する手段と、前記メッセージから端末装置を特定するユーザ情報を検索する手段と、前記キーワードを検出したとき

第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを特定する手段と、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出し、これを第2端末装置に表示する手段とを備えることを特徴とする。

【0035】第29発明に係る電子メールセンタは、電子メールを受信する手段と、受信した電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納する手段と、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示する手段と、電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付ける手段と、前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定する手段と、前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示する手段とを備えることを特徴とする。

【0036】第30発明に係るチャットサーバは、端末装置からメッセージを受信する手段と、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信する手段と、キーワードを定める手段と、第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索する手段と、前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせる手段と、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記手段により得られた電子メールを読み出して第2端末装置へ表示することを指令する手段とを備えることを特徴とする。

【0037】第31発明に係る記録媒体は、電子メールを受信し、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納して、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示するためのコンピュータプログラムを記録してある記録媒体において、電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けるステップと、前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定するステップと、前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示するステップとを含むことを特徴とする。

【0038】第32発明に係る記録媒体は、ホストコンピュータに電子メールを受信させ、該電子メールを宛名毎に設けたメールボックスに格納させ、メールボックスと対応する端末装置からの読み出し指令に基づき、前記メールボックスから電子メールを読み出して前記端末装置に表示させるためのホストコンピュータが使用可能な記

録媒体において、ホストコンピュータに電子メールを特定する情報及び該電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスから前記電子メールを読み出して前記端末装置へ表示させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段とを備えることを特徴とする。

【0039】第33発明に係る記録媒体は、端末装置からメッセージを受信し、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別して、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信するためのコンピュータプログラムを記録してある記録媒体において、キーワードを定めるステップと、第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索するステップと、前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせるステップと、第2端末装置に対応させたメールボックスから前記ステップにより得られた電子メールを読み出して、これを第2端末装置へ表示することを指令するステップとを含むことを特徴とする。

【0040】第34発明に係る記録媒体は、ホストコンピュータに端末装置からメッセージを受信させ、前記端末装置と対応するユーザ情報を識別させ、前記メッセージを前記ユーザ情報とともに端末装置へ送信させるためのホストコンピュータが使用可能な記録媒体において、ホストコンピュータにキーワードを定めさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに第1端末装置から受信したメッセージから前記キーワードを検索させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに前記キーワードを検出したとき第1端末装置及び前記ユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせさせるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段と、ホストコンピュータに第2端末装置に対応させたメールボックスから前記問い合わせにより得られた電子メールを読み出して、これを第2端末装置へ表示することを指令させるホストコンピュータが読みうるプログラムのコード手段とを備えることを特徴とする。

【0041】第35発明に係る記録媒体は、各ユーザが送信及び受信した電子メールをユーザ毎のメールボックスに格納するステップと、前記ユーザの内の複数ユーザが参加している文字による会話を制御するチャットサーバが指示した、前記複数ユーザの各メールボックス内の電

子メールを、前記複数ユーザが操作するそれぞれの端末装置に表示させるステップとを含む電子メール表示方法のコンピュータプログラムを記録することを特徴とする。

【0042】第36発明に係る記録媒体は、送信及び受信した電子メールを電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスにそれぞれ格納する複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたとき、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、メールボックスに前記電子メールと同じ電子メールが格納され前記会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、前記電子メールを表示させるように指示するステップと、前記キーワードが、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含むコンピュータプログラムを記録することを特徴とする。

【0043】第37発明に係る記録媒体は、前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップとを含むことを特徴とする。

【0044】第38発明に係る記録媒体は、前記会話に参加している前記複数ユーザが2人である場合、前記電子メールセンタへ、前記キーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップとを含むことを特徴とする。

【0045】第39発明に係る記録媒体は、それぞれの前記指示するステップは、端末装置に表示させるべき電子メールがメールボックス内に複数格納されている場合、前記端末装置に前記電子メールを一覧表示させるように指示することを特徴とする。

【0046】第40発明に係る記録媒体は、前記会話上で、前記キーワードと予め定めてある第3キーワードとを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の最新の前記電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方の

10

20

30

40

50

ユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップと、第3キーワードが、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含むことを特徴とする。

【0047】第41発明に係る記録媒体は、前記会話上で、前記キーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記時に送信又は受信した電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップと、第4キーワードの時を指定する形式が、前記各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含むことを特徴とする。

【0048】第42発明に係る記録媒体は、前記会話上で、前記キーワードと「〇日前」の語句とを含む発言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の〇日前の前記電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含むことを特徴とする。

【0049】第43発明に係る記録媒体は、各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加するステップと、前記会話上で、前記キーワードと前記識別情報とを含む発

\*言がなされたとき、前記電子メールセンタへ、前記発言をなした端末装置を操作するユーザの前記メールボックス内の、前記識別情報が付加された電子メールを前記端末装置に表示させるように指示するステップと、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップとを含むことを特徴とする。

【0050】第44発明に係る記録媒体は、前記会話上で、前記キーワードが発言されたときに、前記キーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、前記電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、前記電子メールと同じ電子メールを表示させるように指示するステップを含むことを特徴とする。

【0051】表1はチャットサーバにおけるユーザ毎に定めたキーワードの検出のためのユーザ情報の一例を示す表である。表において、ユーザIDは各ユーザの名前の代わりとなる識別子である。ユーザ情報は前記ユーザIDの他にユーザの姓、名前、電子メールアドレス及びニックネーム並びにメッセージ、即ち電子メールの提示のトリガとなるトリガキーワード及び最新の電子メールを指定する選択キーワードの項目を有する。トリガキーワード(キーワード、第1キーワード)及び選択キーワード(第2キーワード、第3キーワード)は、ユーザ毎に適宜設定を行う。

【0052】

【表1】

ユーザID	姓	名前	電子メールアドレス	ニックネーム	トリガキーワード	選択キーワード
mul	村上	雅彦	ABC00127	むる	メールの件だけどメールの件やけどメールやけどさー [End Of Data]	さきほどのいまさっきの [End Of Data]
youchan	渡辺	洋一	DEF00243	ようちゃん	メールの件だけどメールについて [End Of Data]	さっきのこないだの [End Of Data]
natsuki	杉原	夏生	CHI00003	なつきち	メールの件ですが [End Of Data]	今の [End Of Data]
....						
[End Of Data]						

【0053】表2はチャットサーバにおいてチャットに参加しているユーザを表すユーザ接続状況表の一例を示す表である。表において端末IDはチャットサーバの端末インタフェースによって端末装置を識別するためのもの※

※であって、ユーザID毎に端末IDを対応させてある。

【0054】

【表2】

ユーザID	端末ID
mul	端末装置 4
youchan	端末装置 5
....	....
[End Of Data]	

【0055】以下に本発明の電子メール表示方法、情報★50★通信システム、電子メールセンタ及びチャットサーバの

## 21

動作手順を図6に基づき説明する。図6は端末装置Aを使用するmulと端末装置Bを使用するyouchanとが本発明の情報通信システムによりチャットを行っている状況を表すタイミングチャートである。mul及びyouchanはいずれも同一ユーザから同一内容の電子メールを受信しており、また発言者mulは聴取者youchanが前記電子メールを受信していることを知っているものとする。

【0056】(1) mulが端末装置Aのチャットツールを使って「さきほどのメールの件だけど、少し質問してもいい?」と発言する。

(2) チャットサーバがmulの発言を受け付けて、この時チャットを行っている全てのユーザの端末装置(この場合、端末装置Bのみ)に受け付けた発言をその発言者のユーザIDを付けて転送する。

(3) 端末装置Bが受信した発言を表示する。

(4) チャットサーバは、発言を転送した後その発言内容を解析する。そのためにまずユーザ情報から発言者、即ちmulのトリガキーワードを取得する。

(5) mulのトリガキーワードと発言内容と比較する。トリガキーワードが複数設定されているときは、それを1つずつ取り出して比較する。ここで「メールの件だけ」というトリガキーワードを検出する。

【0057】(6) トリガキーワードが含まれているとき、ユーザ情報から今度は選択キーワードを取得する。

(7) mulの選択キーワードと発言内容とを比較する。選択キーワードが複数設定されているときは、それを1つずつ取り出して比較する。ここで「さきほどの」という選択キーワードを検出する。

(8) トリガキーワード及び選択キーワードがいずれも検出されたので、チャットに参加しているユーザ(この場合、mul、youchanのみ)に電子メールを提示すべくユーザ接続状況表から現在接続しているユーザ(mul、youchan)を識別して、その電子メールアドレスを取得する。

【0058】(9) チャットサーバが電子メールセンタへmul(ABC00129)が受信した最新の電子メールをmulの端末装置(端末装置A)及びyouchanの端末装置(端末装置B)へ提示する指令を発行する(第30発明)。

(10) 電子メールの提示指令を受け付けた電子メールセンタはmulのメールボックスから最新に受信した電子メールを特定して読み出し、これをmulの端末装置Aに転送する。またそのIDが同一の電子メールをyouchanのメールボックスから読み出し、これをyouchanの端末装置Bに転送する(第29発明)。

(11) 端末装置A、Bが受信した電子メールを表示する(第1、2、3、4、14、16、17、19、20発明)。尚、ステップ(10)においては、最新に受信した電子メールの代わりに、最新に送信した電子メールであっても良い(第30発明)。

【0059】前述のユーザ情報の選択キーワードとして

## 22

最新を意味する語句の代わりに「〇月〇日」という形式の文字列を設定しておき、ステップ(5)においてトリガキーワードを検出して、しかもステップ(7)においてこの形式の文字列(第4キーワード)を検出したときにその日付に出された電子メールをmul及びyouchanの両方の端末装置に提示しても良い(第5、21、22発明)。前述のユーザ情報の選択キーワードとして最新を意味する語句の代わりに「〇日前」という形式の文字列を設定しておき、ステップ(5)においてトリガキーワードを検出して、しかもステップ(7)においてこの形式の文字列を検出したときにチャットサーバが内蔵するカレンダーから電子メールを受信した日付を求め、その日付に出された電子メールをmul及びyouchanの両方の端末装置に提示しても良い(第6、23発明)。

【0060】また、選択キーワードとして発言者のメールボックス中の全ての電子メールのIDを設定しておき、ステップ(5)においてトリガキーワードを検出して、しかもステップ(7)において前記IDを検出したときにそのIDを有する電子メールを提示しても良い(第12、13、24発明)。またステップ(5)においてトリガキーワードを検出したとき、チャットサーバは電子メールセンタへ発言者(mul)が電子メールをその端末装置(端末装置A)に表示させているか否かを問い合わせる。表示させていると判別したとき、電子メールが表示されている旨と、その電子メールのID、送信者及び受信者とをチャットサーバへ開示する。

【0061】そしてチャットサーバはその電子メールの送信者又は受信者に発言を聴取したユーザ(youchan)が含まれると判別したとき、その電子メールをそのユーザ(youchan)の端末装置(端末装置B)に提示しても良い(第11、25発明)。またステップ(9)においてmul及びyouchanの受信した電子メールのうち最新の電子メールをmul及びyouchanの両方の端末装置に提示しても良い(第8発明)。また、提示すべき電子メールが複数存在するときはそれらの電子メールの一覧を表示するようにしても良い(第10、18発明)。

【0062】また、選択キーワードとしてチャットの参加者のニックネーム又は名前を設定しておき、ステップ(5)においてトリガキーワードを検出して、しかもステップ(7)において前記ニックネーム又は名前を検出したときにそのユーザの電子メールアドレスを取得する。そしてこの電子メールアドレスから発言者へ送信された電子メールをその送信したユーザ及び発言者の端末装置へ提示しても良い(第7、9発明)。

【0063】第31発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、電子メールセンタとして作動し、チャットサーバから、電子メールを特定する情報及びその電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付ける。そして、電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定し、

端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスからその電子メールを読み出してその端末装置に表示させる。

【0064】第32発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるホストコンピュータは、電子メールセンタとして作動し、チャットサーバから、電子メールを特定する情報及びその電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付ける。そして、その電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定し、端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールボックスからその電子メールを読み出してその端末装置に表示させる。

【0065】第33発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、キーワードを定めておき、第1端末装置から受信したメッセージからそのキーワードを検索する。そして、そのキーワードを検出したとき、電子メールセンタへ、第1端末装置及びユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせ、第2端末装置に対応させたメールボックスから、その電子メールを読み出して第2端末装置に表示させるように指令する。

【0066】第34発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるホストコンピュータは、チャットサーバとして作動し、キーワードを定めておき、第1端末装置から受信したメッセージからそのキーワードを検索する。そして、そのキーワードを検出したとき、電子メールセンタへ、第1端末装置及びユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせ、第2端末装置に対応させたメールボックスから、その電子メールを読み出して第2端末装置に表示させるように指令する。

【0067】第35発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、電子メールセンタとして作動し、各ユーザが送信及び受信した電子メールをユーザ毎のメールボックスに格納する。そして、その各ユーザの内の複数ユーザが参加している文字による会話を制御するチャットサーバが指示した、その複数ユーザの各メールボックス内の電子メールを、その複数ユーザが操作するそれぞれの端末装置に表示させる。

【0068】第36発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、送信及び受信した電子メールを電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスにそれぞれ格納する複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたとき、電子メールセンタへ、その

キーワードを発言した端末装置を操作するユーザのメールボックス内の電子メールをその端末装置に表示させるように指示し、また、電子メールセンタ内のメールボックスにその電子メールと同じ電子メールが格納され文字による会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、その電子メールを表示させるように指示する。キーワードは、各ユーザによりそれぞれ設定される。

【0069】第37発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話に参加している複数ユーザが2人である場合、電子メールセンタへ、予め定めてあるキーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。

【0070】第38発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話に参加している複数ユーザが2人である場合、電子メールセンタへ、予め定めてあるキーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。

【0071】第39発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、電子メールセンタへのそれぞれの指示において、端末装置に表示させるべき電子メールがメールボックス内に複数格納されている場合、その端末装置にその電子メールを一覧表示するように指示する。

【0072】第40発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話上で、予め定めてあるキーワードと第3キーワードとを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の最新の電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。また、第3キーワードが、各ユーザによりそれぞれ設定される。

【0073】第41発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話上で、予め定めてあるキーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をな

した端末装置を操作するユーザのメールボックス内の、その時に送信又は受信した電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。また、第4キーワードの時を指定する形式が、各ユーザによりそれぞれ設定される。

【0074】第42発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話上で、予め定めてあるキーワードと「〇日前」の語句とを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の〇日前の電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。

【0075】第43発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加し、会話上で、予め定めてあるキーワードとその識別情報とを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の、その識別情報が付加された電子メールをその端末装置に表示するように指示し、また、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。

【0076】第44発明に係る記録媒体に記録されたコンピュータプログラムにより制御されるコンピュータは、チャットサーバとして作動し、会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたときに、そのキーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示する。

【0077】

【発明の実施の形態】図1は本発明の情報通信システムのブロック図である。図において1及び2はそれぞれコンピュータを用いてなる電子メールセンタ及びチャットサーバである。電子メールセンタ1及びチャットサーバ2はいずれもネットワーク3と接続している。またネットワーク3には端末装置4、5、6が接続してある。即ち、端末装置4、5、6はそれぞれネットワーク3を介して電子メールセンタ1及びチャットサーバ2と接続している。

【0078】図2は本発明の情報通信システムの論理的構成を示す要部ブロック図である。図において端末装置4は電子メールツール41及びチャットツール42を備えて

いる。他の構成要素は前述した図1と同様であるので、同符号を付して説明を省略する。電子メールツール41は、端末装置4と電子メールセンタ1とを論理的に接続するものである。チャットツール42は端末装置4とチャットサーバ2とを論理的に接続するものである。また電子メールセンタ1及びチャットサーバ2は互いに情報の送受を可能にしてある。

【0079】図3は電子メールセンタ1のブロック図である。図において11はCPUであって、記憶装置12及び端末インタフェース13と接続している。記憶装置12は電子メールの受信者となるユーザ毎に対応させてメールボックス121,122,123が設けてある。またユーザが電子メールセンタ1に対して行った指示及びその実行結果等を表すユーザ状態変数表124を有する。端末インタフェース13は端末装置4、5、6及びチャットサーバ2と電子メールセンタ1のCPU11との情報の送受を行う。

【0080】図4はチャットサーバ2のブロック図である。図において21はCPUであって、記憶装置22及び端末インタフェース23と接続している。記憶装置22はユーザの識別及び前記ユーザ毎に定めたキーワードの検出のための前述した表1の如きユーザ情報221,222,223を備える。また現在チャットに参加しているユーザを表すユーザ接続状況表224を有する。端末インタフェース23は端末装置4、5、6及び電子メールセンタ1とチャットサーバ2のCPU21との情報の送受を行う。

【0081】図5は電子メールの一例を示す説明図である。図に示すように電子メールの文中には送信者を示す「From:」フィールド、受信者を示す「To:」フィールド（受信者を複数指定する場合にはそれぞれの電子メールアドレスをカンマで区切って列記する）、電子メールのIDを示す「Message-ID:」フィールド及び着信日付を示す「Date:」フィールドが存在しており、電子メールセンタ1はこれらのフィールドに記載されたそれぞれの情報を参照することができる。

【0082】図7はチャットサーバ2の状態遷移図である。通常、ユーザからの入力待ちを行う状態Iである。ユーザから接続要求を受け付けて接続処理を行う状態IIへ遷移する。状態IIにおいて、接続を要求しているユーザが会員登録ユーザである場合のみ接続を行い、そのユーザID及び端末IDをユーザ接続状況表224に登録する。登録完了又は接続を要求しているユーザが登録ユーザではない場合は状態Iへ遷移する。状態Iにおいてユーザから切断要求を受け付けて切断処理を行う状態IIIへ遷移する。状態IIIにおいてユーザ接続状況表224から切断を要求しているユーザのユーザID及び端末IDを削除する。削除完了により状態Iへ遷移する。状態Iにおいてユーザから発言を受け付けて発言・電子メール提示処理を行う状態IVへ遷移する。状態IVにおいて受け付けた発言をチャットの参加者全員に転送する。またトリガキーワードを検索してこれを検出した場合、さらに選択キー

ワードを検索してこれを検出したとき電子メールセンタ1へ電子メールの提示要求を発行する。

【0083】選択キーワードを検出したときは提示要求の発行完了により状態Iへ遷移する。それ以外のときは転送完了により状態Iへ遷移する。状態Iにおいて設定変更を受け付けて設定処理を行う状態Vへ遷移する。状態Vにおいて受け付けた設定の変更をユーザ情報221, 222, 223へ反映させる。即ちここでトリガキーワード及び選択キーワードの設定を行う。設定完了により状態Iへ遷移する。

【0084】図8はチャットサーバ2の状態IVにおける処理手順を示すフローチャートである。ユーザからの発言を受け付けて(S81)、その発言内容をチャットの参加者全員に転送する(S82)、発言者のユーザ情報からトリガキーワードを取得して(S83)、発言内容からこのトリガキーワードを検索する(S84)。トリガキーワードを検出したとき発言者のユーザ情報から今度は選択キーワードを取得して(S85)、発言内容からこの選択キーワードを検索する(S86)。選択キーワードを検出したときチャットの参加者の電子メールアドレスを取得する(S87)。前記電子メールアドレス及び電子メールの選択方法を指定して電子メールセンタ1へ電子メールの提示を指令する(S88)。選択方法は受信日付が最新の電子メールといった間接的な指定だけでなく電子メールのIDにより直接指定することも可能である。

【0085】図9は電子メールセンタ1の状態遷移図である。通常、ユーザ又はチャットサーバ2からの入力待ちを行う状態Iである。ユーザから電子メールを受け付けて電子メール受信処理を行う状態IIへ遷移する。状態IIにおいて、受け付けた電子メールを指定の受信者のメールアドレスに格納する。受信完了により状態Iへ遷移する。状態IにおいてユーザからOPEN要求を受け付けて電子メールOPEN処理を行う状態IIIへ遷移する。状態IIIにおいて前記ユーザのメールアドレスからそのユーザが指定する電子メールを、そのユーザの端末装置へ提示する。またユーザ状態変数表124に前記電子メールをOPEN状態にしていることを記しておく。OPEN完了により状態Iへ遷移する。状態IにおいてユーザからCLOSE要求を受け付けて電子メールCLOSE処理を行う状態IVへ遷移する。状態IVにおいてユーザ状態変数表124から前記ユーザが電子メールをCLOSE状態にしていることを記しておく。CLOSE完了により状態Iへ遷移する。状態Iにおいてチャットサーバ2から提示指令を受け付けて電子メール連携提示処理を行う状態Vへ遷移する。状態Vにおいてチャットサーバ2から受け付けた電子メールアドレス又は電子メールの選択方法に基づき、提示すべき電子メールを選択し、その電子メールをその送信者及び受信者又はその共通の受信者に提示する。提示完了により状態Iへ遷移する。

【0086】図10は電子メールセンタ1の状態Vにお

る処理手順を示すフローチャートである。チャットサーバ2からの提示指令を受け付けて(S101)、受け付けた指令による電子メールアドレス又は電子メールの選択方法に基づき提示すべき電子メールを選択し(S102)、その電子メールをその送信者又は受信者又はその共通の受信者にそれぞれのメールアドレスから読み出してそれぞれのユーザの端末装置に提示する(S103)。

【0087】図11は、第31発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDaであり、これに記録されたコンピュータプログラムPRaは、チャットサーバから、電子メールを特定する情報及びその電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けるステップと、電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定するステップと、端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールアドレスからその電子メールを読み出してその端末装置に表示させるステップとを備えている。

【0088】フレキシブルディスクFDaは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPRaにより制御されるコンピュータCPは、前述した電子メールセンタ1として作動する。電子メールセンタ1の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。

【0089】図12は、第32発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDbであり、これに記録されたコンピュータプログラムPRbは、チャットサーバから、電子メールを特定する情報及びその電子メールを表示すべき端末装置を特定する情報を受け付けさせるプログラムのコード手段と、その電子メールを特定する情報に基づき電子メールを特定させるプログラムのコード手段と、端末装置を特定する情報に基づき特定した端末装置に対応させたメールアドレスからその電子メールを読み出してその端末装置に表示させるプログラムのコード手段とを備えている。

【0090】フレキシブルディスクFDbは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPRbにより制御されるホストコンピュータHCPは、前述した電子メールセンタ1として作動する。電子メールセンタ1の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。

【0091】図13は、第33発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDcであり、これに記録されたコンピュータプログラムPRcは、キーワードを定めておき、第1端末装置から受信したメッセージからそのキーワードを検索するステップと、そのキーワードを検出したとき、電子メールセンタへ、第1端末装置及びユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメ



ールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせるステップと、第2端末装置に対応させたメールボックスから、その電子メールを読み出して第2端末装置に表示させるように指令するステップとを備えている。

【0092】フレキシブルディスクFDcは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPRcにより制御されるコンピュータCPは、前述したチャットサーバ2として作動する。チャットサーバ2の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。

【0093】図14は、第34発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDdであり、これに記録されたコンピュータプログラムPRdは、キーワードを定めさせるプログラムのコード手段と、第1端末装置から受信したメッセージからそのキーワードを検索させるプログラムのコード手段と、そのキーワードを検出したとき、電子メールセンタへ、第1端末装置及びユーザ情報から特定した第2端末装置に各対応させたメールボックスに共通して格納してある同一内容の電子メールを問い合わせさせるプログラムのコード手段と、第2端末装置に対応させたメールボックスから、その電子メールを読み出して第2端末装置に表示させるように指令させるプログラムのコード手段とを備えている。

【0094】フレキシブルディスクFDdは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPRdにより制御されるホストコンピュータHCPは、前述したチャットサーバ2として作動する。チャットサーバ2の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。

【0095】図15は、第35発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDeであり、これに記録されたコンピュータプログラムPREは、各ユーザが送信及び受信した電子メールをユーザ毎のメールボックスに格納するステップと、各ユーザの内の複数ユーザが参加している文字による会話を制御するチャットサーバが指示した、その複数ユーザの各メールボックス内の電子メールを、その複数ユーザが操作するそれぞれの端末装置に表示させるステップとを含んでいる。

【0096】フレキシブルディスクFDeは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPREにより制御されるコンピュータCPは、前述した電子メールセンタ1として作動する。電子メールセンタ1の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。

【0097】図16、17は、第36〜44発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。この記録媒体は、フレキシブルディスクFDfであり、これ

に記録されたコンピュータプログラムPRfは、送信及び受信した電子メールを電子メールセンタ内のユーザ毎のメールボックスにそれぞれ格納する複数ユーザが参加しているチャットシステムによる文字による会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたとき、電子メールセンタへ、そのキーワードを発言した端末装置を操作するユーザのメールボックス内の電子メールをその端末装置に表示させるように指示するステップと、電子メールセンタ内のメールボックスにその電子メールと同じ電子メールが格納され文字による会話に参加しているユーザが操作する端末装置に、その電子メールを表示させるように指示するステップと、キーワードが、各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含んでいる。

【0098】コンピュータプログラムPRfは、また、会話に参加している複数ユーザが2人である場合、電子メールセンタへ、予め定めてあるキーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザへ送信した、メールボックス内の電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含んでいる。

【0099】コンピュータプログラムPRfは、また、会話に参加している複数ユーザが2人である場合、電子メールセンタへ、予め定めてあるキーワードを発言した端末装置を操作するユーザが他方のユーザから受信した、メールボックス内の電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含んでいる。

【0100】コンピュータプログラムPRfは、また、電子メールセンタへのそれぞれの指示において、端末装置に表示させるべき電子メールがメールボックス内に複数格納されている場合、その端末装置にその電子メールを一覧表示するように指示するステップを含んでいる。

【0101】コンピュータプログラムPRfは、また、会話上で、予め定めてあるキーワードと第3キーワードとを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の最新の電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップと、第3キーワードが、各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含んでいる。

【0102】コンピュータプログラムPRfは、また、会話上で、予め定めてあるキーワードと時を指定する第4キーワードとを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザ

のメールボックス内の、その時に送信又は受信した電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップと、第4キーワードの時を指定する形式が、各ユーザによりそれぞれ設定されるステップとを含んでいる。

【0103】コンピュータプログラムPRfは、また、会話上で、予め定めてあるキーワードと「○日前」の語句とを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の○日前の電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含んでいる。

【0104】コンピュータプログラムPRfは、また、各ユーザが送信する電子メールに識別情報を付加し、会話上で、予め定めてあるキーワードとその識別情報とを含む発言がなされたとき、電子メールセンタへ、その発言をなした端末装置を操作するユーザのメールボックス内の、その識別情報が付加された電子メールをその端末装置に表示するように指示するステップと、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップとを含んでいる。

【0105】コンピュータプログラムPRfは、また、会話上で、予め定めてあるキーワードが発言されたときに、そのキーワードを発言した端末装置に電子メールが表示されている場合、電子メールセンタへ、他方のユーザが操作する端末装置に、他方のユーザのメールボックスに格納された、その電子メールと同じ電子メールを表示するように指示するステップを含んでいる。

【0106】フレキシブルディスクFDfは、ディスクドライブDDに装填され、これに記録されたコンピュータプログラムPRfにより制御されるコンピュータCPは、前述したチャットサーバ2として作動する。チャットサーバ2の構成及び動作は、前述したので説明を省略する。尚、前述した記録媒体の実施の形態では、記録媒体をフレキシブルディスクFDa～FDfとして説明したが、フレキシブルディスクに限らず、例えば、光ディスク、磁気テープ、CD-ROM等であっても良い。

【0107】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、意思疎通の手段として互いに補う形で個別に利用されてきた電子メール及びチャットシステムを連携させて、より円滑な意思の疎通を図ることが可能である。

【0108】第1, 3, 26, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワード及びユーザを指定する情報を発言することによつ

て、電子メールセンタを連携させて話題の電子メールを読み出し、前記ユーザへ前記電子メールを提示することができる。

【0109】第2, 4, 27発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて話題の電子メールを読み出し、キーワードを発言したユーザへ前記電子メールを提示することができる。

【0110】第5, 6発明によれば、電子メールの受信日に基づき読み出すべき電子メールを決定することができる。

【0111】第7, 8, 9発明によれば、電子メールの発信者と受信者との関係から読み出すべき電子メールを決定することができる。

【0112】第10発明によれば、読み出すべき電子メールが複数存在するとき、それらの一覧を表示してユーザが選択できるようにする。

【0113】第11発明によれば、発言者の端末装置に表示されている電子メールを読み出すべき電子メールに該当するとき、前記電子メールを読み出すことができる。

【0114】第12, 13発明によれば、電子メールの識別情報に基づき読み出すべき電子メールを決定することができる。

【0115】第14, 17, 35, 36発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて話題の電子メールを読み出し、話題の電子メールの受信者及び送信者へ前記電子メールを提示することができる。

【0116】第15, 16, 37, 38発明によれば、チャットによる会話への参加者が2人の場合に、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて話題の電子メールを読み出し、話題の電子メールを2人の参加者へ前記電子メールを提示することができる。

【0117】第18, 39発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて、話題の複数の電子メールを読み出し、話題の複数の電子メールの受信者及び送信者へ、前記電子メールをそれぞれ一覧表示することができる。

【0118】第19, 20, 40発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて最新の電子メールを読み出し、最新の電子メールの受信者及び送信者へ最新の電子メールを提示することができる。

【0119】第21, 22, 41発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて、特定の時に受信又は送信された電子メールを読み出し、その電子メールの受信者及び送信者へその電子メールを提示することができ

る。

【0120】第23, 42発明によれば、チャット中に「〇日前」の語句を発言することによって、電子メールセンタを連携させて、〇日前に受信又は送信された電子メールを読み出し、その電子メールの受信者及び送信者へその電子メールを提示することができる。

【0121】第24, 43発明によれば、チャット中に電子メールの識別情報を発言することによって、電子メールセンタを連携させて、その識別情報の電子メールを読み出し、その電子メールの受信者及び送信者へその電子メールを提示することができる。

【0122】第25, 44発明によれば、チャット中に予め定めておいたキーワードを発言することによって、電子メールセンタを連携させて、その発言者が見ている電子メールを読み出し、その電子メールの受信者及び送信者へその電子メールを提示することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報通信システムのブロック図である。

【図2】本発明の情報通信システムの論理的構成を示す要部ブロック図である。

【図3】電子メールセンタのブロック図である。

【図4】チャットサーバのブロック図である。

【図5】電子メールの一例を示す説明図である。

【図6】本発明の情報通信システムのタイミングチャートである。

【図7】チャットサーバの状態遷移図である。

【図8】チャットサーバの処理手順を示すフローチャートである。

トである。

【図9】電子メールセンタの状態遷移図である。

【図10】電子メールセンタの処理手順を示すフローチャートである。

【図11】第31発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【図12】第32発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【図13】第33発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【図14】第34発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【図15】第35発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【図16】第36～44発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

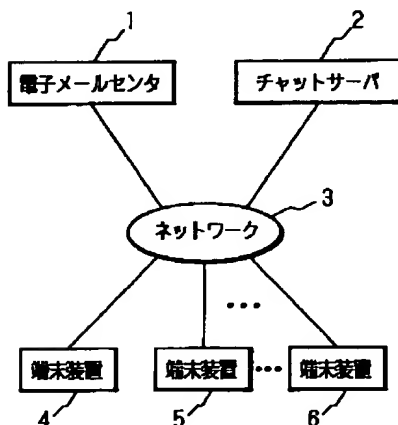
【図17】第36～44発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図である。

【符号の説明】

- 1 電子メールセンタ
- 2 チャットサーバ
- 3 ネットワーク
- 4, 5, 6 端末装置
- CP コンピュータ
- DD ディスクドライブ
- FDa～FDf フレキシブルディスク
- HCP ホストコンピュータ
- PRa～PRf プログラム

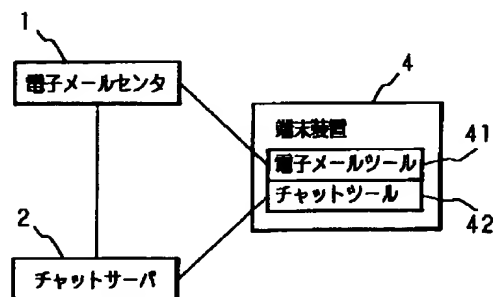
【図1】

本発明の情報通信システムのブロック図



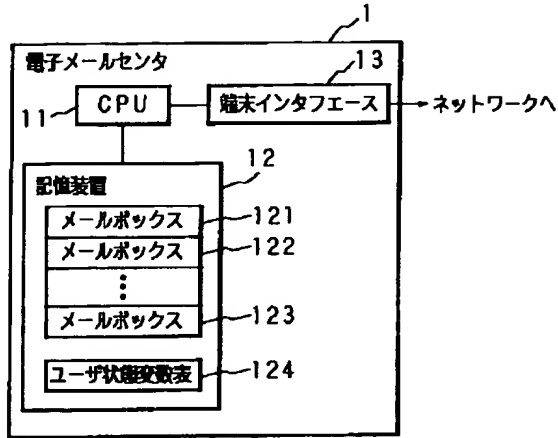
【図2】

本発明の情報通信システムの論理的構成を示す要部ブロック図



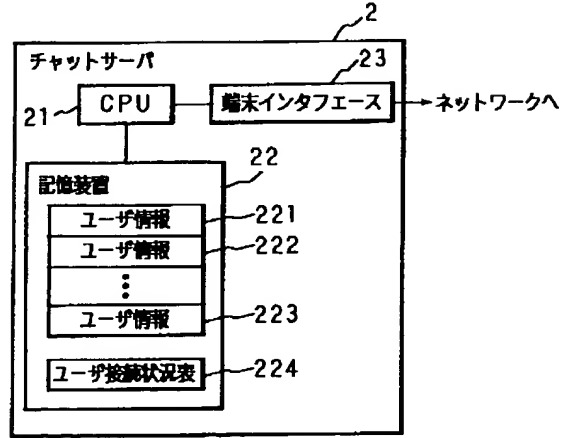
【図3】

電子メールセンタのブロック図



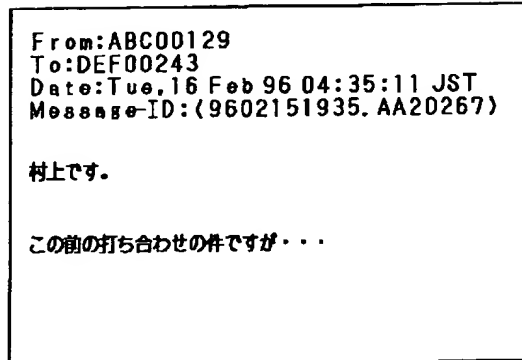
【図4】

チャットサーバのブロック図



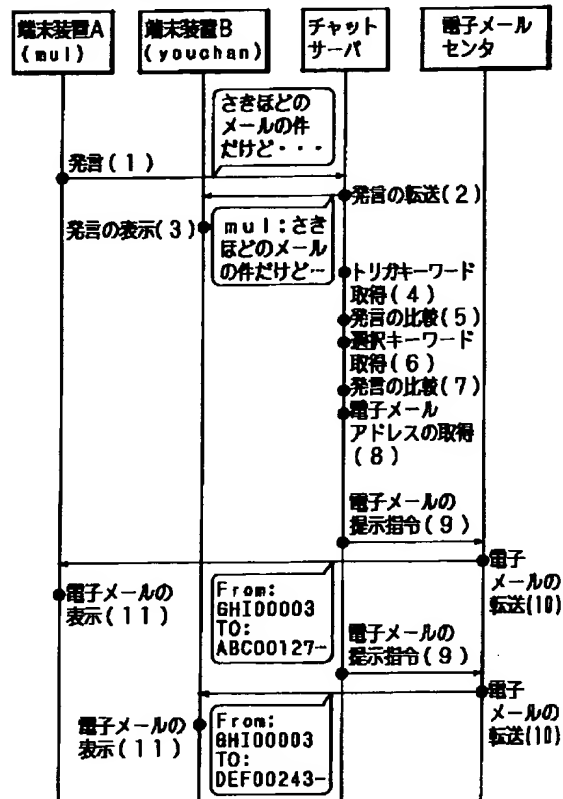
【図5】

電子メールの一例を示す説明図



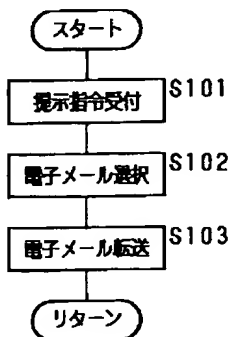
【図6】

本発明の情報通信システムのタイミングチャート



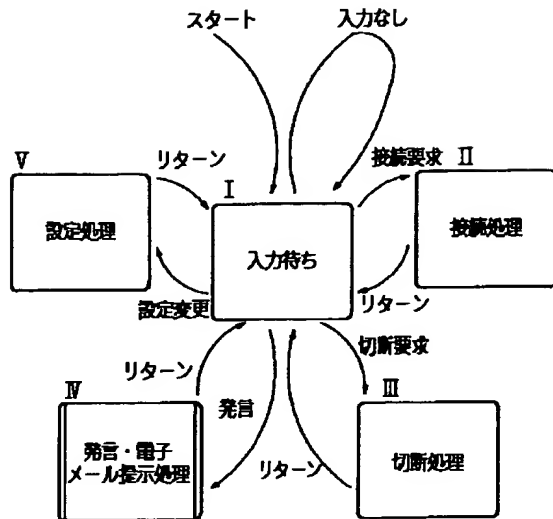
【図10】

電子メールセンタの処理手順を示すフローチャート



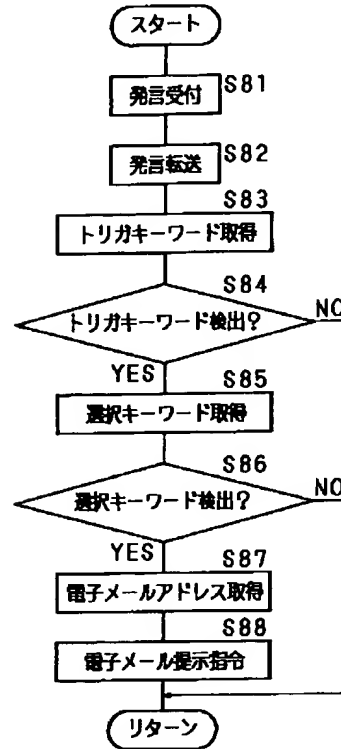
【図7】

チャットサーバの状態遷移図



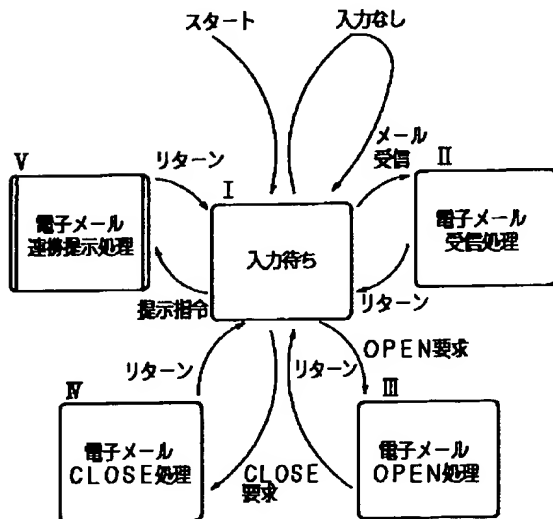
【図8】

チャットサーバの処理手順を示すフローチャート



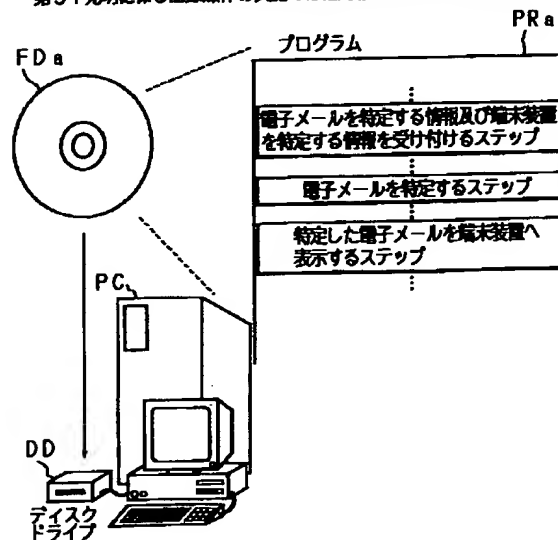
【図9】

電子メールセンタの状態遷移図



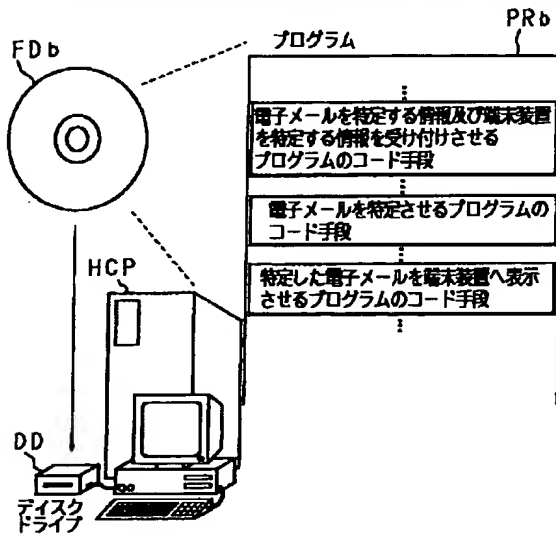
【図11】

第31発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



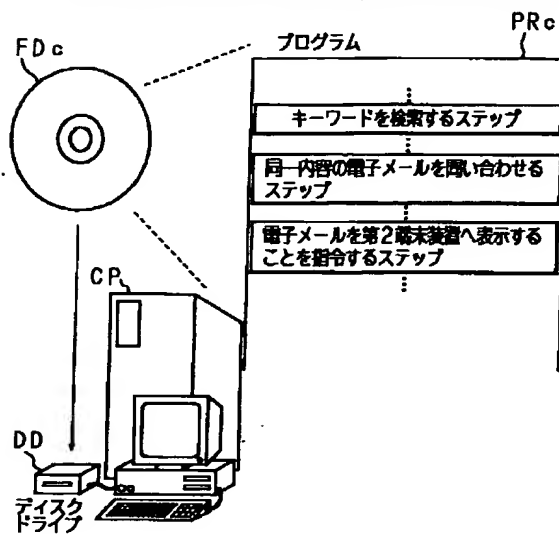
【図12】

第32発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



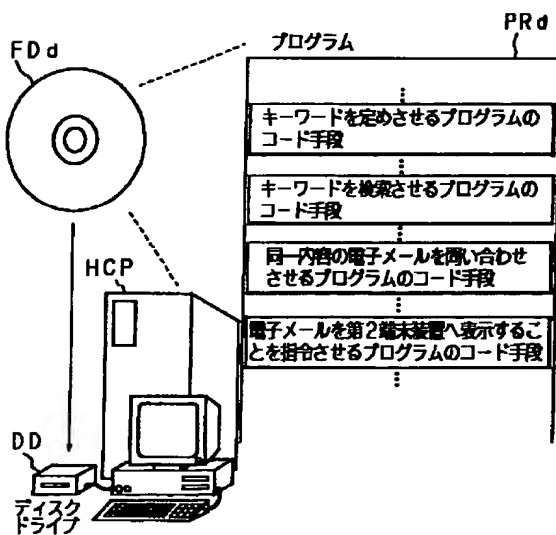
【図13】

第33発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



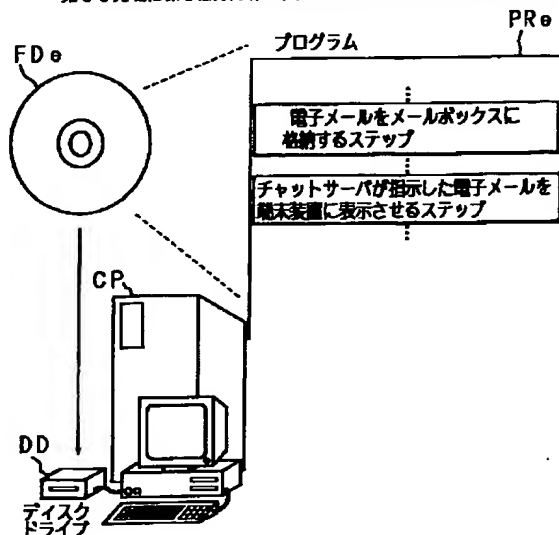
【図14】

第34発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



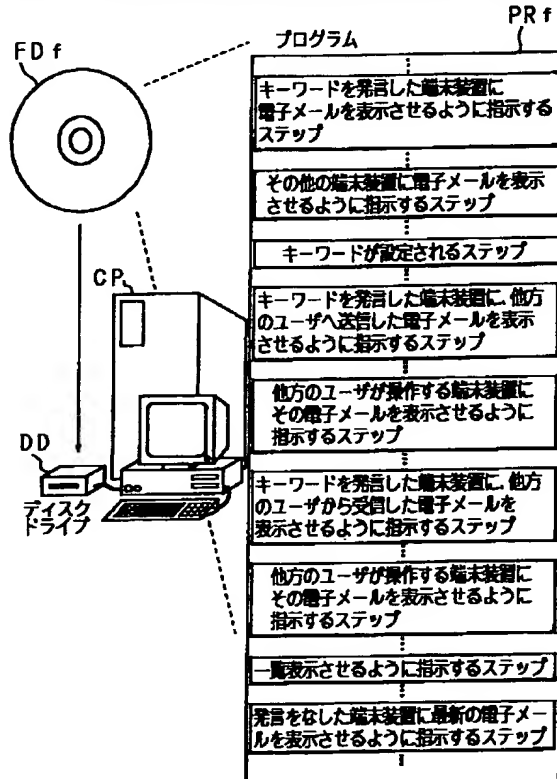
【図15】

第35発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



【図16】

第36~44発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図



【図17】

第36~44発明に係る記録媒体の実施の形態を説明するための説明図

